

カトリック京都司教区 コロナウイルス感染対策のために
ミサ等、集会を行うときの守るべき要件

2020年5月16日
カトリック京都司教
✠パウロ大塚喜直

京都司教区では、各ブロックで、主日ミサ（集会祭儀）・集会・講座等を再開するとき、政府が公表している「新しい生活様式」から、感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いと、「3密」の回避（密集、密接、密閉）を守るため、以下の要件を確実に満たしてください。要件を満たすことができない場合、ミサ等、集会を行うことはできません。それぞれの教会の状況、構造によって、段階的にミサ等の再開についての工夫をお願いいたします。

1. コロナウイルス対策全般

- ① 聖堂・集会室は、使用前に、次亜塩素酸消毒液・アルコール消毒液などで、ドアノブ・座席・机などを消毒する。使用後も、同様に消毒を行う。
- ② 聖堂・集会室の出入口に、参加者のために消毒用のアルコール等を設置し、確実に消毒を行う。
- ③ 聖堂入り口の「聖水盤」を使用しない。
- ④ 聖堂・集会室は、密閉を避け、部屋の大きさに合わせて、通年を通して換気を行う。
- ⑤ 参加者は、1) マスクを着用し、2) 間隔をできるだけ 周囲 2mを空け(座る席を指定する等)、 3) 飛沫感染を防ぐため、大声での歌唱や会話を控える。
- ⑥ 体調に不安のある高齢者、基礎疾患（糖尿病、心疾患、慢性閉塞性呼吸疾患や喘息、抗がん剤治療・免疫疾患）のある人、また風邪症状がみられる場合は参加を控える。
- ⑦ 集会（講座、教会学校など）は、1時間以内とする。
- ⑧ 集会時の飲み物を除き、食事の提供、会食を伴うパーティなどを行わない。

2. ミサの奉納と聖体拝領について

- ① ミサ中のホスチアとぶどう酒（水）の奉納を行わない。
- ② ホスチアとぶどう酒は、あらかじめ祭壇近くに用意しておく。
- ③ ホスチアは、チボリウム（テカ）に必要な数を入れ、蓋をして準備する。ミサ中も蓋をしておく。
- ④ 「平和のあいさつ」は、握手や抱擁はしないで、互いに礼をしてあいさつを交わす。
- ⑤ 司祭、集会司会者、聖体授与の臨時の奉仕者は、聖体拝領の前に、手を消毒する。拝領者も、拝領前に手を消毒できるように工夫する。
- ⑥ 司祭は、聖体を奉挙して、「キリストの御からだ」と言い、会衆は一同で「アーメン」と唱える。個別に聖体拝領する際、司祭は無言で聖体を渡し、信徒は無言で受け取る。
- ⑦ パンとブドウ酒の両形態の拝領はできない。
- ⑧ 口（舌）での聖体拝領は控え、手で拝領すること。
- ⑨ ミサ（集会祭儀）の時間を短くするため、また飛沫感染を防ぐため、当面の間、聖歌は歌わない。但し、答唱詩編とアレルヤ唱のみ、先唱者が歌うことができる。

3. 病者の聖体拝領について

病者の聖体拝領が必要な場合は、ブロック担当司祭の指導にしたがって、上記の感染しないための要件を守ること。

以上